

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2010年1月5日

103号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

## 動き出した将来への安心施策

——願いが、実生活の中で生きるまで活動を——

雛人形が飾られる季節になりました。

生活が近代化する中で、飾るスペースも少なくなり、あまり話題にも上らなくなった感じはしますが、古びた人形に会う機会があったりするとその時代を経た端正な顔立ちの中に凛とした気配を感じたりもします。そういえば、いつの時代も、表に出る事は少ないながら、しっかりと暮らしの場で支えてきたのは女たちであったように思います。

今、福祉の社会を考えると、なんと女性の活躍の大きい事。

そして、そうした地域の福祉活動の会に出ると、「いかに男性のボランティアを増やすか」という話題が必ず出ています。ボランティアに限らず、仕事としても、もっとどんどん福祉の現場にしっかりと暮らしの目線をもった男性の参加が欲しいところです。

なーんて、お雛様にあやかっ... 一言。

\* \* \*

先日、横浜市の林市長にお目にかかる機会がありました。ずっと心の中に抱えてきた同年輩の女性の気持ちを聞いて、停滞気味だった私も、少し前向きになりました。

今度、障害者の在宅手当が廃止になるに当たり、「将来にわたる安心施策」などが検討されてきましたが、市長も「ここは、きっちりやります」とのことでした。

2/16～3/26まで開かれている横浜市議会において予算案が通れば、数字の裏づけのある議論を皆様としていけると思います。

◇障害者の高齢化・重度化に伴い、「住まいの場の充実」として、日中もグループホームで安心して過ごせるように支援体制の強化。

◇在宅生活を支えるための、医療的ケア対策の推進。医療従事者の障害理解の促進。

◇地域生活のためのきめ細やかな対応として、人材の育成・確保のための支援や、地域活動ホームの機能の充実 など、があげられています。

これまで、「たわわ」や増刊号の特集などでも何度も提案してきた事が、少し先が見えて、明るい気持ちにもなれました。

\* \* \*

また、日中通っている「活動ホームしもだ」もようやく看護師と協力医師がきまり、長年、私たちが願ってきた事が実りつつあります。今後は、これらの事が、ほんとに機能していくように、活動しつつ見守っていく事が大切だと思います。



## 展示会「地域に暮らして 私たちは今...」

### —障害者グループホームの現状と課題— 終わる

今年度第2回目の啓発事業である展示会が2月8日から13日までの間、大倉山駅前通りにあるアートかれんのギャラリーで行なわれ、無事終了しました。

私たちの直面している課題を絞り、パネルで紹介するとともに、写真を展示する事で、この横浜・港北で暮らす障害者たちの様子をお伝えできたと思います。



これから、しばらくはデイの場の「障害者地域活動ホーム」やグループホームへの取り組みが忙しくなるとは思います。ほんとうに障害者たちの暮らしが「安全で、安心できる将来」へ向けて整備されていくよう、皆で見守っていきたいと思います。



## 新吉田地域交流バザーのお知らせ

重度身体障害者が共に暮らすグループホームが新吉田西部町会に開設してより「よつばホーム」は早くも8年半「第2よつばホーム」も3月で6年が経とうとしております。

今年もグループホームの庭で、新吉田の皆さんのご協力を得て『バザー・交流の集い』を行います。楽しいひとときをみなさんでお楽しみいただければと思います。

**日時：** 3月27日（土）午前10時30分～午後1時30分まで

**会場：** よつばホームの庭

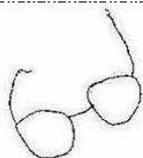
港北区新吉田町5623-1 TEL&FAX：045-592-7040  
（綱島よりバス①番 中町下車 ガソリンスタンド裏となり）

**内容：** 提供品の販売 衣料 雑貨 食品（お菓子、お赤飯、漬物など）  
軽食コーナー（焼きそば、フランクフルト、おでん など）

\* 後援： 新吉田地区社会福祉協議会

\* 入れたてのコーヒーや 飲み物をサービスいたします。皆さんでお楽しみください。





## めがねの声 — 98 —

### ■原因のわからない病気で...

皆さんお元気ですか。いま、寒かったり、20度になるといったりで、洋服の調節が、ちょっと大変。こうして季節が変わるのですね。グループホームでは、一ヶ月に1度訪問看護ステーションから看護師さんがきて、みんなの健康をチェックしてくれます。みんな、ずっと普通に元気に暮らしたいからです。

\* \* \*

私は、この前ほんのちょっとの虫さされのような、湿疹のようなものができました。白癬菌かもしれないといわれて、夜どこの病院に行くか電話をしたり、少し大騒ぎになりました。移るかも知れないといわれたからです。

次の日、山本記念病院の皮膚科にいきました。

先生は、ちょっと見て「ただの湿疹だね。白癬菌はソコイラじゅうにいる菌だから、気にしないでいい。」とってくれました。

しばらくして今度は、たくさん湿疹がでてきたので、また病院に行きました。先生は、すぐに診てジベルばら色紅疹だね。6週間から2か月出続けるけど必ず治るよ。」といただきました。湿疹は、どんどん増え続けて、皆びっくりしたり、心配しました。顔と手足の先を除いて全部出ていましたが、しばらくして先生に診ていただいたら、別の湿疹が混じっているといわれました。皆も私もわからないのに、先生は、洋服をまくって見てすぐに見つけたので、私は、『さすがに専門の先生だな』とびっくりしました。

だんだん治って、今では、ほとんどなくなりました。

グループホームや、活動ホームのスタッフたちがとても一生懸命に見たり薬をつけてくれたりしました。

\* \* \*

何が原因なのか、いまもわかりませんが、私は、微熱が続くのが治ったと思ったら、今度は皮膚で、“普通に生活しているのに...”とおもうのです。

障害者は、何かあったら、専門のよくわかってくれる先生に診ていただいたり、母たちがすすめてくれる先生がいいなと思います。

もう一つ、良いと思ったことは、先生が直接私に説明をしてくれたことです。

ほんとに、皆さんに感謝しています。

大原 友子

ご入会 ご継続 ありがとうございます

《賛助会員》

\*鈴木 玲子

\*萬治 進

\*萬治 敏子

[敬称略]

《寄付金》

募金箱 3,240円 (展示会)



\* 印の方は記載漏れがございました。深くお詫び申し上げます。 (22年2月26日現在)

10:30～13:30

後援 : 新吉田地区社会福祉協議会